

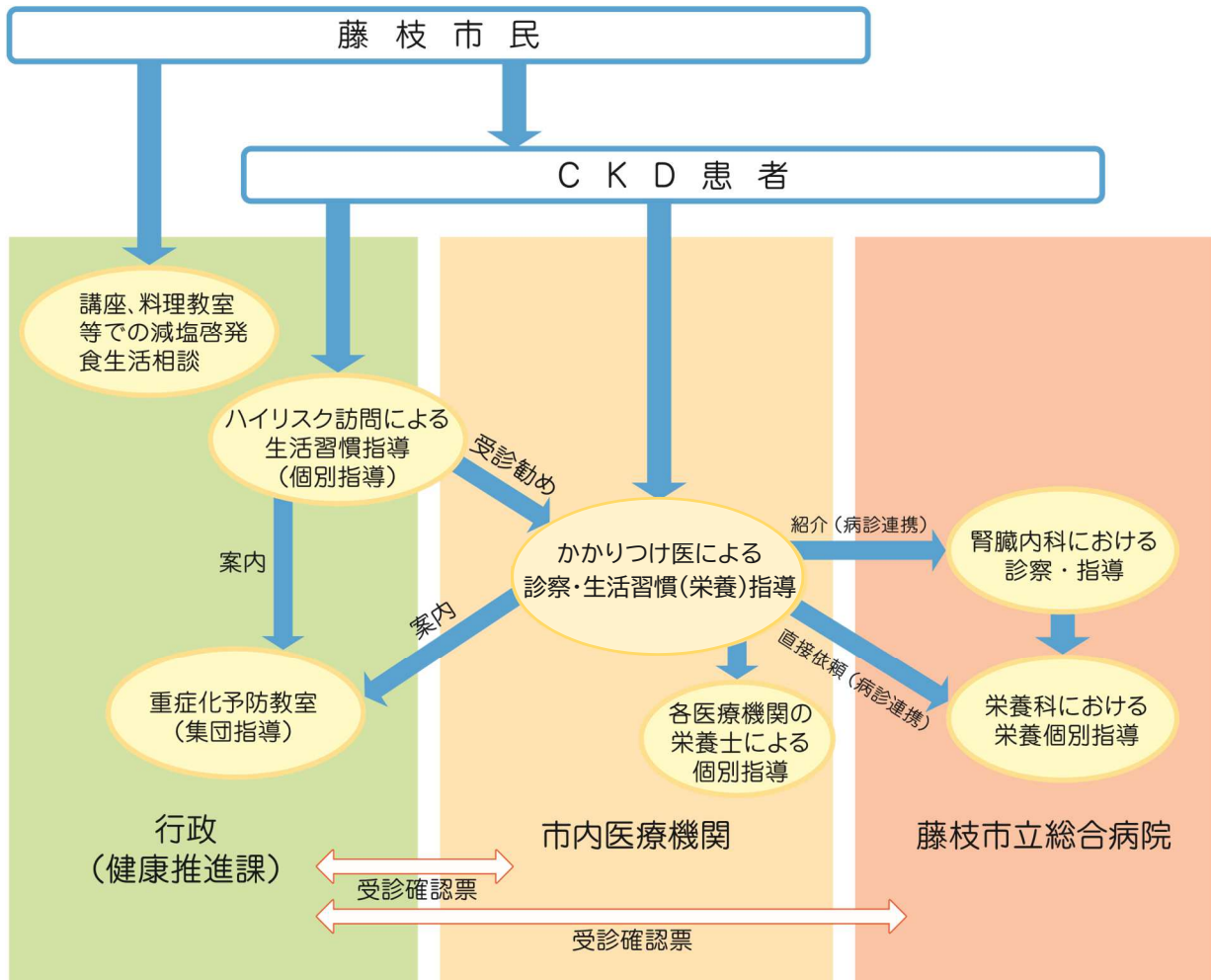
## 2.行政の役割と取り組み



# I. 行政の役割

藤枝市民全体に対して、減塩についての知識や生活習慣病の悪化が腎機能を低下させること等を広く周知する事で、CKD を含めた生活習慣病の予防に努める役割を果たします。また、ハイリスク者に対しては、適切な受診の勧奨や対象者に合わせた食事相談、重症化予防教室を開催することで、急激な腎機能の低下の予防に努めます。

事業の実施により、全ての市民が住み慣れた地域で人生の最後まで尊厳をもって自分らしい生活を送ること、また透析導入を遅らせることで、医療費の削減にも繋がることを目指します。



## Ⅱ. 行政の取組み

### 1. ハイリスクアプローチ

---

#### 目的

特定健診の結果、腎ハイリスク者をはじめ、血圧、糖、脂質異常等のハイリスク者に対し、訪問等で受診状況の確認及び生活習慣改善の指導を行います。また、受診中の者については、受診確認票を用いて主治医との連携を図りながら、それぞれの対象者に状況に応じて必要なフォローを行い、生活習慣病の重症化予防を図ります。

#### 対象者

特定健康診査(藤枝市国民健康保険、後期高齢者医療保険加入者)  
ヘルスアップ健診[40才未満]

#### 従事者

保健師・管理栄養士・看護師

#### 事業内容

##### ・ハイリスク訪問(来所相談・電話相談含む)

受診状況の確認をすると共に、健診結果から現在の腎臓の状態について説明し、血圧や血糖、体重などの管理や減塩、対象者に合った食事量の目安等、腎臓をいたわるポイントなど生活習慣改善の指導を実施します。

また、医療機関や保険薬局で、腎臓機能情報を共有化するために、お薬手帳カバーと「Check!CKD シール」を配布し、適切なお薬手帳の管理について指導を行います。

##### ・受診確認票(ハイリスク者用医師連絡票)の活用

ハイリスク訪問時などに対象者に配布し、医療機関受診時に本人から主治医へ提出します。主治医は受診状況や行政への指示・留意事項等を記入のうえ医師会メール便にて健康推進課へ返信します。返信された確認票の内容に合わせてフォローを実施します。

##### ・重症化予防教室

対象者とその家族に対し、食事・生活について(食べるときと調理するときの減塩のポイントや血糖コントロールのポイントなど)生活習慣見直しの意識づけとなるための教室を実施します。ハイリスク訪問時に教室紹介をすると共に、受診中で生活改善が必要な方には、受診の際に医師などが教室の案内を行います。

## 2. ポピュレーションアプローチ

---

### 目的

食塩の過剰摂取は血圧をあげる大きな要因であり、脳血管疾患や腎臓病のリスクを高めます。市民に対し、講座や料理教室、イベント、食生活相談等を通じて、家でも簡単にできる減塩のポイントを広く啓発することで、CKD を含めた生活習慣病の予防を図ります。

### 事業例

- ・定例食生活相談 木曜日(13 時～ 15 時)金曜日(9 時～ 12 時)※要予約
- ・保健委員<sup>※2</sup> 講座での「生活習慣病予防」をテーマにした教室
- ・健康づくり食生活推進員<sup>※3</sup> による地区交流センターでの減塩教室
- ・サロンや老人クラブ、家庭教育学級等市民からの申込みによる出前講座
- ・ヘルシーメニュー普及事業
- ・イベント等での生活習慣病予防の啓発や家庭血圧測定の普及

※ 2 昭和 59 年に自治会組織を基盤にして保健委員制度が発足。(藤枝市保健委員連絡協議会)  
自治会長・町内会代表(町内会長等)が保健委員として、また全町内会 60～80 世帯に 1 人が女性保健委員として市長から委嘱され、地域ぐるみで健康を守る為の活動を展開している。毎年市の課題に合わせたテーマで実施する重点講座と、各支部や町内会単位で行う運動、食生活、生活習慣病予防などをテーマとした保健講座を実施している。

※ 3 昭和 56 年に発足したボランティアグループ。(藤枝市健康づくり食生活推進協議会)  
「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、地域における「食」を通じた健康づくりの推進を行っている。親子や低栄養予防などテーマに合わせた教室を地区交流センターで実施している。また、地区交流センターでのふれあいまつり等のイベントでも食育活動を実施している。